

# 建築研究資料

*Building Research Data*

No. 131

March 2011

---

---

## 平成22年度 長期優良住宅先導事業の 応募提案の評価

Evaluation of Proposals for “The Leading Project for Long-term  
Quality Housing” in The Fiscal Year 2010

西尾信次、澤地孝男、長谷川直司、岩田司、  
鹿毛忠継、河合直人、中島史郎、萩原一郎、布田健、  
古賀純子、濱崎仁、武藤正樹、平野陽子

Shinji Nishio, Takao Sawachi, Naoji Hasegawa, Tsukasa Iwata,  
Tadatsugu Kage, Naohito Kawai, Shiro Nskajima, Ichiro Hagiwara, Ken Nunota,  
Junko Koga, Hitoshi Hamasaki, Masaki Muto, Yoko Hirano

---

---

独立行政法人 建築研究所

Published by

Building Research Institute

Incorporated Administrative Agency, Japan

## はしがき

独立行政法人建築研究所は、公正・中立の立場で、住宅・建築・都市計画技術に関する研究開発、地震工学に関する研修等を総合的、組織的、継続的に実施する日本で唯一の公的な研究機関であります。

研究開発の成果が、国が実施する関連行政施策の立案や技術基準の策定等に反映され、それらが民間の技術開発や設計・施工の現場で活用されることにより、国民の安全の確保、健康で快適な居住空間の実現、省エネルギーや環境への配慮等持続可能性の確保、消費者への安心の提供など、我が国の住宅・建築・都市の質の確保・向上に貢献することを基本的役割としています。

こうした役割の一貫として独立行政法人建築研究所では、平成 20 年 4 月から国土交通省により募集が行われている「長期優良住宅先導事業（平成 20 年度は「超長期住宅先導的モデル事業」、平成 21 年度は「長期優良住宅先導的モデル事業」として実施）」の応募提案の評価業務を担っています。

同事業は、住宅の寿命を延ばす「長期優良住宅」の普及推進を図る国土交通省の施策の一環として実施されているものです。合計 2 回行われた平成 22 年度の募集においても 350 余の提案がなされ、平成 20 年度、21 年度に引き続き非常に大きな反響がありました。建築研究所では所をあげて評価に取り組むとともに、外部の学識経験者による評価委員会を設置し、慎重に審査・評価を行いました。その結果、合計 108 件の提案について先導事業にふさわしいものとして選定し、国土交通省に報告致しました。

本資料は、平成 22 年度の応募提案、評価の経過及び結果、採択された提案の内容等を総括し、とりまとめたものです。また、併せて、平成 20 年度から 3 年間の同事業の実施状況や長期優良住宅に関する取り組み状況について、採択事業者へのヒヤリング調査等からとりまとめを行っています。

住宅・建築産業に関わる多くの皆様に、長期にわたる住宅の使用に向けて取り組まれる今後の検討資料として、本資料をご活用いただければ幸いです。なお、本資料は白黒で印刷しておりますが、建築研究所ホームページにおいてカラー版を掲載しておりますので合わせてご活用下さい。

最後に、長期優良住宅先導事業の評価にあたり、巽和夫委員長（京都大学名誉教授）をはじめとする評価委員会の委員各位に多大な協力を賜りました。ここに改めてお礼申し上げます。

平成 23 年 3 月

独立行政法人 建築研究所理事長

村上 周三